

『楽知んカレンダー』をず〜っと使っていて、これからも使いたいみなさま！

『楽知んカレンダー』を今後も末長く発行してもらいたいと思っているみなさま！

4月に「今年も『楽知んカレンダー』を買うのを忘れていた」と気づかれるみなさま！

らくち
『楽知んカレンダー』
こよみびと
暦人



大募集!

そんなみなさま、安心して下さい!!!
『楽知んカレンダー』暦人というしくみが
できました!!

らくち
楽知ん研究所

<http://www.luctin.org>

● 『楽知んカレンダー』を知ってる?

『楽知んカレンダー』(発行:NPO法人楽知ん研究所)をご存知でしょうか? 2002年版30部を作ってから、15年の間、出版をし続けることができています。カレンダーのイラスト、そして編集は、すべて小出雅之さん(北海道)の手で行われています。

『楽知んカレンダー』は、もともとは、ベンジャミン・フランクリン(1706~1790)が25年間、米国のフィラデルフィアで出版していた「貧しいリチャードの暦」(1732~57)をモデルにしています。それは、ただのカレンダーではなく、格言や読み物、月の暦や日の出・日の入りのデータなどが入っているものでした。『楽知んカレンダー』もそれをマネして、「ちょこっと総合読本」という読み物や板倉聖宣さんの発想法の「心得」(満月方程式)による満月の日なども入った、ふつうのカレンダーとは少しおもしろい変わったものとなっています。

この15年間で、「うちのカレンダーはこれ!」「トイレには、はってあるよ」と気に入って、ご愛用くださっている方々も次第に増えてきています。本当にありがたいことです。ユーザーのみなさま、改めて感謝です。

フランクリンの「貧しいリチャードの暦」は、毎年1万部ほど発行されていました。フランクリンは、この暦や週刊新聞の発行などで、経済的独立(ファイナンシャル・インディペンデンス=衣食足りて、好きなことだけをやる状態)を果たして(1748)、静電気実験をはじめとする科学研究に没頭して、自然科学や社会の科学のいろんな分野でたのしい研究や事業を続けました。

この『楽知んカレンダー』もそれを模倣して、年間1万部の発行をめざして、NPO法人としての経済的独立のめどをたてたいと思っているのですが、残念なことに15年たっても、それは達成できていません。

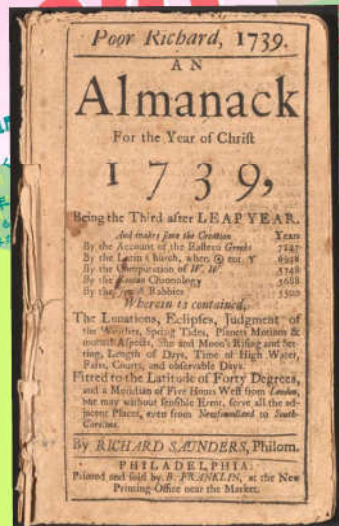
今のところ「貧しいリチャードの暦」の10分の1の1000部ほどの方々に購入していただいています。そして、さらに残念なことに、発行部数を読み間違えたりして、いまだ十分な黒字経営ができていない状況です。

● 発行を持続可能にするために

でも、毎年、「たのしみにしています」という声をユーザーの方々から聞くと、「貧しいリチャードの暦」が25年の間、続いたように、『楽知んカレンダー』もあと10年で25年間、いやいや、もっと末長く発行を続けたいと思っています。

さらに、「カレンダーを注文するのを忘れてました。毎年、時期が来たら送ってもらえると便利だわ」「4月になって、やっとカレンダーを注文していないことに気づいて、今、急いで注文しました」……というような声を聞くことが少なくありませんでした。そういう事態も、なんとかできないかと考えていました。

そこで、知恵をしぼった結果、こんなことを考えました。それが「楽知んカレンダー暦人(こよみびと)」の募集です。(裏につづく)



● 楽知んカレンダー 曆人



「楽知んカレンダー 曆人」というのは、8月までに、翌年・翌年度の『楽知んカレンダー』の注文をしてくださる方のことです。発行前に注文を受けて、その代金を前もってお支払いいただきます。そうしていただくことで、『楽知んカレンダー』の発行部数のメドを判断することができます。さらに印刷代金のもととなる資金のメドもたちます。

1700年代にデザギュリエ (1683~1744) が発行した科学実験講座の本にも、「購読予約者」の名前が載っていたように、〈先に読者がお金を支払って=出資して、その本の出版を支援する〉というスタイルを模倣しました。

「曆人」は、下の表にある4種類。曆人になってくださった方には、時期が来れば、その時に注文しなくても『楽知んカレンダー』が送られてきます。

でも、それだけではつまらないので、こんな特典も考えました。

● 特典その1 〈曆人クレジット〉



「曆人クレジット」というのは、『楽知んカレンダー』の最後のページに、映画のエンドクレジットのように、「曆人」の方々のお名前を掲載します。

映画が終わったあとで出てくる、このクレジットを見るのが好きな方はいらっしゃいませんか？「こんなにも多くの人びとが関わって、この映画がつくられたんだなあ。人間ってスゴいなあ」と感激にひたつたことはないでしょうか？

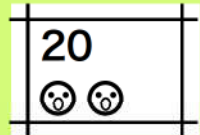
映画のように名前が流れてはいかないのですが、『楽知んカレンダー』の最後のページに、カレンダー発行の出資をしてくださった方々の名前を見ることで、「こんなにも多くの人びとの支援で、『楽知んカレンダー』が発行できているんだなあ。そうやってみると、カレンダーがもっとステキに感じられるなあ」と思っていたら幸いです。そして、お名前がたくさん掲載されることで、『楽知んカレンダー』の信用(クレジット)も増すとも思います。

● 特典その2 〈誕生日マーク〉



「誕生日マーク」というのは、『楽知んカレンダー』のカレンダーの欄に、「あなたの誕生日」にマークを記入させていただきます。それによって、「誕生日が同じ人が何人いるのか？」や他にも、何か「見えないことが見えてくる」のではないのでしょうか。そんなたのしみ方もカレンダーならでは、でしょう。

もちろん誕生日に実名を入れるわけではなく、右のような感じになると思います。



「曆人クレジット」「誕生日マーク」によって、出資支援者の方々には、より一層、『楽知んカレンダー』に親しみや愛着を持っていただけると思うのですが、どうでしょうか？

あなたも、「楽知んカレンダー 曆人」になって、『楽知んカレンダー』の発行事業を継続可能にするサポーターのひとりになってみませんか？

曆人の4つの種類 →	① 1冊曆人	③ 3冊曆人	⑩ 10冊曆人	③⑩ 30冊曆人
カレンダー金額	540円(税込)	540円(税込)×3	540円(税込)×10	540円(税込)×30
送料	200円	無料サービス	無料サービス	無料サービス
合計金額	740円	1620円	5400円	1万6200円
特典1 曆人クレジット	なし	○(1名分)	○(1名分)	○(1名分)
特典2 誕生日マーク	なし	○(1名分)	○(1名分)	○(1名分)
特典3 『楽知んカレンダー』プレゼント	なし	なし	+1冊	+5冊



- ① ③ ⑩ ③⑩のどれかの記号
- 曆人の氏名・ふりがな
- 住所・電話番号
- 生年月日
- メールアドレス(迷惑メールの設定にご注意！)
- 『楽知んカレンダー』に一言
- 曆人になるにあたって一言

『楽知んカレンダー』 曆人 ★ 応募方法 締め切り8月末

- A. ウェブ申し込み <http://luctin.org/koyomibito2017-webform> ケータイからもOK。
- B. メール申し込み mail@luctin.org 右上の1~7をすべてお伝えください。
- C. 郵便振替申し込み 下の例のように、郵便局にある振替用紙に1~7をすべてお伝えの上、お金をお振り込みください。



* A, Bの場合は、事務局よりメールで振り込み先のご案内を差し上げてから、お金をお振り込みください。

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00	027608	45002	¥1620
楽知ん研究所事務局		楽知ん研究所事務局	
1. ③(3冊曆人) 2. 3. は依頼人欄のとおり		楽知ん 花子	
4. 曆人の誕生日(例 2005年7月14日)		金額 千 百 十 万 千 百 十 円	
5. hanaako@luctin.org		¥1620	
6. 毎月方程式が、家飲み大好きです!		おなまえ	
7. 楽知んカレンダーが、ますます自分の曆になる気がします!		ご依頼人	
000-0000 曆人(こよみびと)ご住所		日 附 印	
ラクチン ハナコ 楽知ん 花子		料 金	
ご連絡先電話番号 090-2017-7919		備 考	

● お問い合わせはこちらへ ●
koide@luctin.org
 ☎ 090-2074-6842 小出雅之

● NPO 法人 楽知ん研究所について ●

私たちは、誰もがたのしく感動的に学ぶことができる〈科学入門講座〉を開催するNPOの研究所です。その講座を通して、予想をたてて実験しながら、新しいことに〈チャレンジ〉する人、そのチャレンジを〈主体的に支援〉する人、〈他人の笑顔〉を広げていく人たちが、たくさん育つ社会をつくっていきます。